



げんきな子 がんばる子 やさしい子

# 園だより

12月号

北区立さくらだこども園  
園長 西澤尚子

## どう、つながるか

今年は、11月になってようやく気候も冬らしくなってきたと思えば、もう年の暮れを迎える12月です。

今、5歳児は生活発表会に向けて学級の中で思いを出し合い、考えを合わせ、力と気持ちを合わせて劇や合奏、歌に取り組んでいます。年長のこの時期になるまで子どもたちは、保育者と、また友達同士で『一緒に』する機会を積み重ねてきました。人との関わり方は人と関わることでしか学べません。いい考えも、互いに譲らずには学級で一つのものはいずれも創れません。譲り合っただけで思いが出せなくてもみんなのものは創れません。友達同士のつながりを信じて、思いを表し、考えを伝え合っただけで、学級の劇、合奏となっていきます。劇を創り上げていく中で、なかなか言葉や動きが出ない友達に大きな声や強い口調で台詞を教える姿もありました。困っている友達を助きたい一心ですが、言われた方の気持ちはどうでしょうか。そんなやりとりに保育者が丁寧に寄りながら、それぞれの幼児にとって安心できるつながり方を感じ取れるように支えています。

リハーサルで3、4歳児は、30分近い5歳児の劇をじっとよく観ていました。まだ言葉がはっきり聞こえないところがあるにもかかわらず、初めて見るお話を分かって楽しんでいました。5歳児の学級のつながりから生まれ、つながろうとする意志をもって表現される劇は、観る人にも楽しさを伝えていることを感じました。

今年度も保護者の皆様に園評価をいただきます。北区王子地区の子どもを育てる幼児教育施設として、さくらだこども園が子どもの健やかな成長に向けて、よりよく変わっていくためのご意見をいただきたいと思っています。

一年の終わりを迎えるにあたり、一年を振り返る時間がもてると、新しい年を気持ちよく前向きに迎えられるように思います。振り返り、よりよい明日に向かう大人の姿が、子どもたちがよりよい明日の自分を思い描くことにつながると思います。よい年をお迎えください。

### —今月の指導のめあて—



- 〈3歳児〉
  - ・保育者に受け止められる安心感を基に、自分の気持ちを自分なりに言葉でも表そうとする。
  - ・学級で表現遊びや簡単な楽器遊びをする中で、自分なりに表現する楽しさやおもしろさを感じる。
  - ・年末年始の行事や雰囲気に触れ、楽しみにしたり、季節の移り変わりを感じたりする。
- 〈4歳児〉
  - ・自分の思いやイメージをもち、言葉や動きに出しながら実現していくことや、繰り返し取り組むことの楽しさを感じる。
  - ・鬼遊びやボール遊び、縄遊びなど、遊び方や簡単なルールが分かり、友達と一緒に体を動かすことを楽しむ。
  - ・冬の自然に触れて季節の移り変わりを感じたり、年末年始の行事を知って楽しみにしたりする。
- 〈5歳児〉
  - ・自分の考えやイメージを相手に分かるように伝えたり、友達の話をよく聞いて受け止めたりしながら、遊びや生活を進める。
  - ・自分のめあてに向かって繰り返し取り組み、楽しさや充実感を味わう。
  - ・年末年始の雰囲気を感じたり、行事の意味を知ったりし、楽しみにして過ごす。